

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-------------------|--------|----------------|
| 建物名称 | 野崎徳州会クリニック・サービス付き | 階数 | 地上4F |
| 建設地 | 大阪府大東市深野三丁目 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 商業地域、防火地域 | 平均居住人員 | 200人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 集会所、病院 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2023年2月 予定 | 評価の実施日 | 2022年6月3日 |
| 敷地面積 | 2,970㎡ | 作成者 | 元山 良幸 |
| 建築面積 | 1,636㎡ | 確認日 | 2022年6月3日 |
| 延床面積 | 4,220㎡ | 確認者 | 元山 良幸 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|--|---|
| 総合 福祉施設・診療所として、清掃しやすく、緑化も可能な限り多く配置することにより、利用者が気持ちよく環境にも配慮された建物となっている。 | | その他 特になし |
| Q1 室内環境 各居室の面積に対して窓が大きく設計されている。天井・各種内装材はF☆☆☆☆を使用している。 | Q2 サービス性能 床材を統一したり、清掃しやすい床材の選定など、メンテナンスしやすい設計となっている。 | Q3 室外環境(敷地内) 植栽を設けて良好な外観形成に努めている。屋上緑化も設けて、緑化できるところはできるだけ緑化することに環境の配慮に努めている。 |
| LR1 エネルギー BPI=0.71、BEI=0.93で病院・福祉施設では平均的な省エネ結果となっている。 | LR2 資源・マテリアル LGS+PBなので分別可能であり部材の再利用可能向上性に努めている。 | LR3 敷地外環境 十分な数の駐車場・駐輪場を設置している。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0028

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

| | | | | | | | |
|--------|------------------------|--------------------------------|---|----|---|-------|---|
| 【建物概要】 | 建物名称 | 野崎徳州会クリニック・サービス付き高齢者向け住宅等 新築工事 | | | | | |
| | 建設地 | 大阪府大東市深野三丁目 | | | | | |
| | 用途/区分 | 病院 集会所 | | | | | |
| 【評価結果】 | CASBEE 総合評価 | | | | | B+ | |
| ① | CO2削減 | | | | | 3 | |
| ② | みどり・ヒート アイランド対策 | | | | | 3 | |
| ③ | 建物の断熱性 | | | | | 5 | |
| ④ | エネルギー削減 | | | | | 2 | |
| ⑤ | 自然エネルギー直接利用 | | | | | — | |
| | 再生可能エネルギー 利用施設の導入状況 | 太陽光発電 | — | 風力 | — | 地熱 | — |
| | | 太陽熱利用 | — | 水力 | — | バイオマス | — |

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

| 項目 | 評価内容 | スコア | 評価 |
|------------------|---------------------------|---------------|-------|
| ① CO2削減 | CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価 | 3.2 | 3 |
| ② みどり・ヒートアイランド対策 | | | |
| 生物環境の保全と創出 | CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価 | 3.0 | 3 |
| 敷地内温熱環境の向上 | CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価 | 2.0 | |
| 温熱環境悪化の改善 | CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価 | 3.0 | |
| ③ 建物外皮の熱負荷抑制 | CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価 | 5.0 | 5 |
| ④ 設備システムの高効率化 | CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価 | 2.3 | 2 |
| ⑤ 自然エネルギー利用 | CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価 | 3.0 | — |
| エネルギー消費の実態把握に努める | エネルギー消費量の実績を3年間報告する。 | 報告する 報告しない | 報告しない |

その他

| | 技術の名称 | 考慮事項 |
|----------|-------|------|
| 先進的技術の導入 | | |
| 特に配慮した事項 | | |